

REPORT & INFORMATION

報告とお知らせ

お問い合わせもうしこみは

ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室内)

住所: 〒108-8607
東京都港区高輪4-6-12

でんわ: 03-5789-2016

ファックス: 03-5789-2036

電子メール: jcuinfo@unicef.or.jp

お知らせ Information

参加者募集

ユニセフ・エジプト事務所の日本人スタッフとメールでインタビュー&意見交換

ピラミッドで有名な国、エジプト。ユニセフはここでも活動しています。エジプトはアラブ諸国の中でも重要な役割をになっていて、今回のイラク戦争でもその動向が注目されてきました。

エジプトはイスラムの国です。イラク戦争やテロ事件など、イスラムのことをこうしたニュースの中で聞くことが多いかもしれませんね。ところで、イスラムの人びとはどんな生活をしていて、どんなことを考えているのでしょうか。そもそも、イスラムって何？

今回、ユニセフ・エジプト事務所の大澤祐子さんが、メールでみなさんの質問に答えたり、みなさんとの意見交換に参加したりしてくれることになりました。7月後半の1週間に、ユニセフ子どもネットのメーリングリストを使って、大澤さんとのインタビュー&意見交換をおこないます。イスラムやエジプトに興味を持っているみなさん、エジプトでユニセフがどのような活動をしているのか知りたいみなさん、この機会に、疑問に思っていたことを何でも聞いてみたり、自分たちの意見や考えを聞いてもらったりしましょう。

また、この企画の中心になる企画委員になってくれるネットワークを募集します。役割は、最初の質問を考えて、中心となって大澤さんとのやりとりを進めたり、インタビューや意見交換の内容を後でユニセフ「子どもネットニュース」の記事にまとめたりです。



エジプトの子どもたち ©UNICEF/HQ96-1054/Nicole Toutounji

報告 Report

学習会

ユニセフ子どもネット@九州 第4回学習会報告

4月5日、福岡でユニセフネットワークは福岡で学習会をおこないました。

今回は、東京から日本ユニセフ協会 広報室の森田さんが来てくれました。自己紹介から始めて、続いて森田さんから「権利(人権)」に関して基本的なことを学びました。また、ゲームを通して「権利感覚」を実感しました。

次に、子どもの人身売買やCSEC(子どもの商業的性的搾取)についてお話を聞き、みんなでその原因や解決方法を話し合いました。その結果、原因は「すべてのものが商品として取引されてしまう社会」ということになり、また、解決策は「教育と心への働きかけ、そして貧困をなくすための経済支援も必要」だということに結論に達しました。その後、今後の活動などを話し合いました。

今回は、これまでできなかったことや積極的な話し合いができました。また、これまで知らなかったことや学校では勉強できないことも、たくさん知ることができてよかったです。

(報告: 秦 聖一郎 17歳)



展示

日本橋図書館で子どもの権利について展示会をひらきました!

ユニセフ子どもネットワークの小張真理子さんは、「子どもの権利」を知らせたい中学生や高校生と一緒に『知ろうよ! 子どものけんり展~今を生きる子どもたち~』を、3月29日から4月12日まで、東京の日本橋図書館でひらきました。児童労働について調べた資料や、日本ユニセフ協会などで集めた資料などを、みんなで協力してたくさん展示しました。ちょうど企画を考えていたときにイラク戦争がはじまったので、「戦争がおきたら子どもたちがどうなってしまうか」ということをみんなに知らせたくて、劣化ウラン弾や子どもの兵士について調べたことや、イラクの子どもたちの絵なども展示しました。



参加者募集 ユニセフ子どもネット@北海道

北海道のユニセフ子どもネットワークの有志が、8月9日に札幌で、高校生を対象にさまざまなことについて意見を言い合うフォーラムを計画しています。

「自分の人生に、社会に何を求めているんだろう? そのためにどのように生き、行動し、何ができるのかな? ほかの国の子どもたちはどのような人生を歩んでいるんだろう?」

さまざまな参加者が集まって意見を交換する中で、これからの活動や何かが見えてくるかもしれません。お友達にも声をかけて、ぜひ参加してください。

日時: 2003年8月9日(土) 午前11:00~午後2:45

会場: 札幌市民会館 2階会議室

対象: 高校生(子どもネットワーク以外でもOKです)

当日は昼食を持参してください。

参加希望者は、ユニセフ子どもネット事務局に、電話・ファックス・メールなどで申し込んでください。



LETTERS

ユニセフ子どもネットニュース NO.4を読んで

ネットワークからの感想

出生登録というものがあることを始めて知りました。出生登録をしないと存在が認められないこともわかり、大事なことなんだなあと思いました。世界の人びと全員が、いろいろな権利を持ち、世界から認められてほしいです。(原口 紗耶加 12歳)

「子ども参加」のほんのちょっとしたことでちゃんと「参加」なんだなと思った。学校で先生が独断で決めてしまい、話し合いの意味がなくなったときに、そんなときは「子ども参加」の権利というか、そういうのが無視されてるかも...と思った。(山田 莉可 12歳)

一番心に残ったのは出生登録についてです。私達には当たり前のことが、できない人がたくさんいるってことを改めて感じました。登録をしていないだけで、

自分の存在がなくなると思うとすごく悲しいです。(杉浦 綾子 13歳)

「子ども参加」に関するアンケートを読んで、少し元気がわいた。みんないろいろなことを考えているんだなと思った。それに、いろいろなところで自分の意見を持ち、伝えようとしていることがわかり、私もがんばろうと思った。これからも、こんな風なアンケートをしてほしいと思う。(上野 結 16歳)

